

広報

いであ

5

17, May
2018
Vol.1094



写真 / 5月13日、町制施行60周年記念事業
第36回全国白川ダム湖畔マラソン大会

- 03 町制施行60周年記念事業
第36回全国白川ダム湖畔マラソン大会
- 04 飯豊町 60年のあゆみ
- 06 渡邊六郎兵衛家長屋門 国の有形文化財に登録
- 07 「宇津峠の史跡」発行
- 08 飯豊町高齢者保健福祉計画
第7期介護保険事業計画を策定しました
- まちかどNEWS
- 12 屋台村いいでらプレオープン記念式典／スポーツ少年団
合同入団式／町内小学校交通安全教室 ほか
- 14 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 15 いいで・ヘリテイジ／町長の見て歩き
- 16 健康ikiiki+
- 17 みんなで進めよう！介護予防！／町民川柳
- 18 暮らしの情報／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 20 第4回心の古里いいでフォトコンテスト
入選「女の子、男の子、どっち？」



the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。
これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

今月の

表紙



熱のこもった指導を行う弘山晴美さんと陸上教室参加者

元オリンピック選手に 学ぶ

町制施行60周年記念事業として開催された、第36回全国白川ダム湖畔マラソン大会。ゲストランナーとしてお迎えした、元オリンピック選手の弘山晴美さんから、マラソン終了後、小・中学生を対象に陸上教室が行われました。走る時のフォームを意識した体幹の作り方を中心とした内容で、身ぶり手ぶりを交え、時に参加者に手を差し伸べながら、熱のこもった指導が行われました。

飯豊町町制施行60周年記念事業 第36回全国白川ダム湖畔マラソン大会



各コース優勝者				
2km	男子	市川 慶伍	高島町	6分04秒
	女子	大浦 陽奈乃	高島町	7分02秒
5km	男子	武田 悠斗	高島町	15分49秒
	女子	渡部 莉奈	高島町	18分23秒
10km	男子	後藤 拓馬	鶴岡市	31分27秒
	女子	尾形 友紀	米沢市	45分40秒

5月13日、新緑に包まれた白川ダム湖畔公園を会場に、町制施行60周年記念事業第36回全国白川ダム湖畔マラソン大会が開催されました。今大会は、町制施行60周年を記念し、アトラクタ・シドニー・アテネオリンピック3大会連続出場の大迫 康介さんをゲストランナーに迎えて開催されました。

初夏の爽やかな陽気のもと、県内外から972名のランナーが参加して、萌える新緑の中、思い思いのペースでマラソンを楽しみました。ゲストランナーの弘山さんは2kmコースに参加し、「ガンバレー!」「ゴールまでもう少し!」など声を掛けながら、和やかな雰囲気をつくり、参加者たちを盛り上げました。閉会式では、各コースの上位入賞者の表彰に加え、遠方賞や各コース最年長者賞などの表彰が行われました。



ゲストランナーの弘山晴美さん



揃いのシャツで走る参加者



中津川地区の方々が手入れた水仙ロードを駆け抜けた



激しいデッドヒートを繰り広げる参加者たち

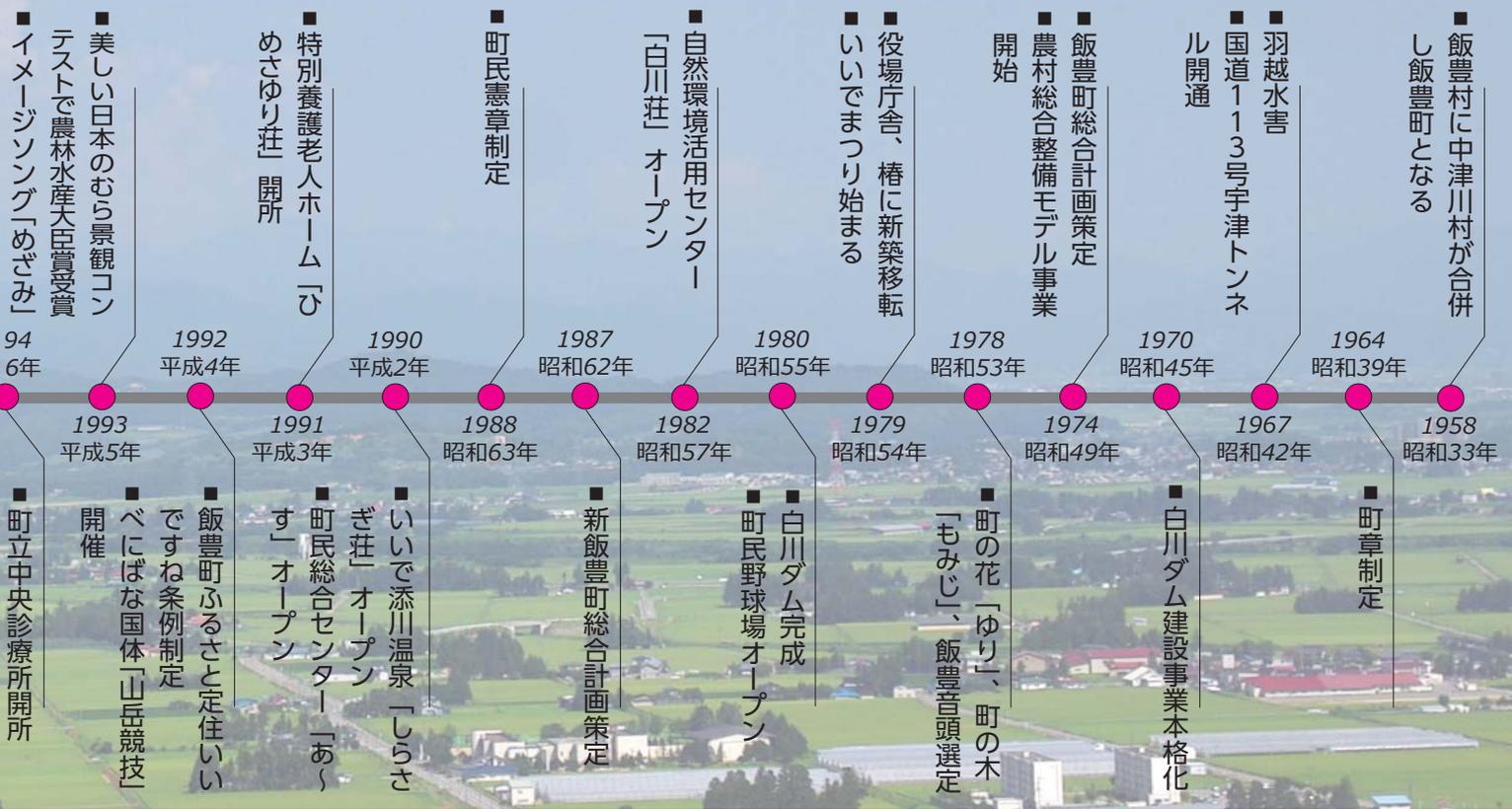


ゲストランナーのダニエルカールさん



家族で参加の方は、水没林を背景に撮影した記念写真をプレゼント

た。また、町内旅館宿泊券や町の特産品などが当たる抽選会も行われ、会場は最後まで大いに盛り上がりました。



町60年のあゆみ

飯豊町の誕生

明治17年7月、西置賜郡中村・萩生村・椿村・黒沢村・添川村は萩生に、小白川村・松原村・手ノ子村・高峰村は手ノ子に、戸長役場を置き、各村に派出書記が置かれていました。中津川は、南置賜郡に所属し、「内中津川」と呼ばれ、郡の中の14カ村がそれぞれ行政単位でした。

明治22年4月1日の町村制施行により、中・萩生・黒沢・椿で豊原村を、小白川・手ノ子・高峰・松原で豊川村を、添川は単独で添川村になりました。内中津川14カ村も合併し中津川村となりました。さらに、明治25年には、松原が豊川村から分離して、添川村に編入されました。

昭和28年9月1日に市町村合併促進法が施行され、翌29年10月、豊川村・添川村・豊原村の3村が合併して飯豊村となり、さらに昭和33年4月1日に中津川村と合併して、今の飯豊町となりました。



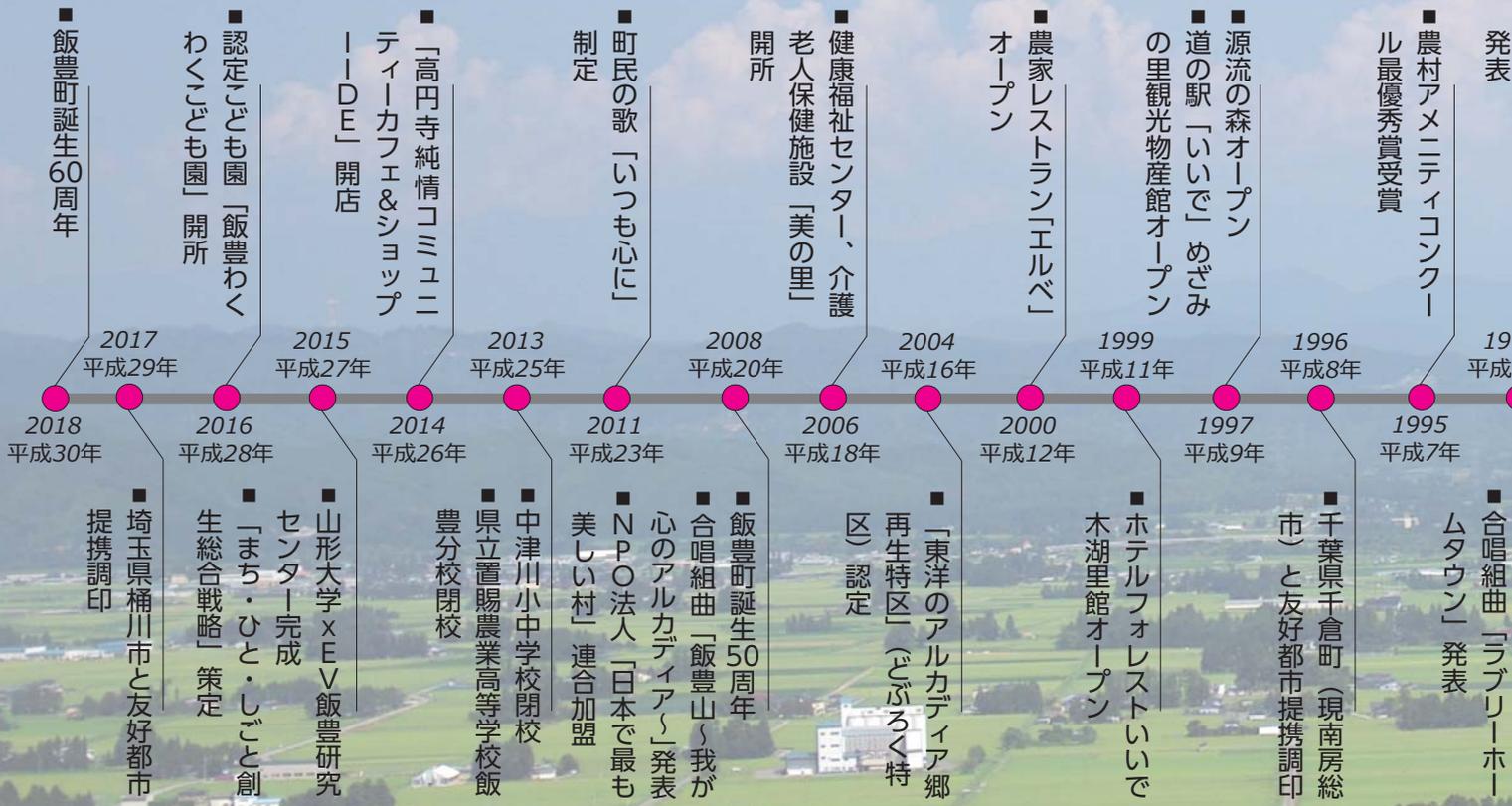
飯豊町の60年

飯豊町が誕生して最初の国勢調査（昭和35年）での人口は、1万5478人（高齢化率5.5%）でした。それから55年後の平成27年の国勢調査での人口は、その半数を下回る7304人（高齢化率34.7%）で、全国的な人口減少と少子高齢化は本町も同じ状況です。

この60年の間には、オイルショック、高度経済成長期を経て、その後バブル経済の崩壊による長い不況やリーマンショックなど、経済に翻弄された時代でありました。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災という未曾有の大災害は、いまだ完全な復旧・復興には至っていません。

本町では、一区画30㏍の圃場整備事業、モデル事業を導入し、農業振興に努めるとともに、東山工業団地を造成し、企業誘致に積極的に取り組んできました。また、昭和54年には役場庁舎が萩生地区から椿地区に移転。昭和55年には白川ダムが完成すると、翌々年の昭和57年には中津川地区の観光拠点となる白川荘がオープンしました。

その後、平成の時代に入ると、町民総合センター「あくす」やめざみの里観光物産館、どんでん平ゆり園など、交流人口拡大のための施設整備が行われるとともに、子育て支援施策や高齢者支援のための事業拡充など生活環境の整備に取り組んできました。近年では、山形大学 x E V 飯豊研究センターを中心に、産業連携の仕組みを構築し、農山村の経済的自立を目指しています。



60周年記念事業

60年という節目の年を迎え、町民の皆さんをはじめ、飯豊の地に関わりのある多くの人とともに祝い、そして、未来への繁栄の思いを込めて記念事業を実施します。

事業内容	概要
町制施行60周年記念式典 ●日時／9月1日(土) ●会場／あ～す	いいで“めざまの里”まつり2018の開催に合わせて、記念式典および記念講演を行います。
飯豊町表彰条例に基づく表彰 子ども議会 ●日時／7月31日(火) ●会場／町議会議場	町の発展に寄与し、町政に功績のある方を記念式典で表彰します。 町内小中学校の児童・生徒が議員となり、まちづくりについて議論します。
景観配慮のまちづくり	田園散居集落をなす屋敷林に囲まれた農家住宅の継承など景観に配慮したまちづくりのため、景観条例の制定を進めます。
飯豊町農村計画研究所の再興	まちづくりの礎と歴史、そして将来に引き継ぐまちづくりの理念を常に感じることが出来る場を創り上げるために、「飯豊町農村計画研究所」を再興します。
広報いいで縮刷版(第4巻)の発行	平成20年4月～平成30年3月発行分の「広報いいで」の縮刷版を発行します。

※このほかにも、例年開催している「黒べこまつり」、「町芸能発表会」、「いいで秋の収穫祭」などに合わせて記念事業を行います

飯豊

これからの飯豊町
昭和49年に策定した第1次総合計画の「手づくりのまちいいで」から一貫して貫いてきた姿勢があります。1つは住民参加のまちづくりを実践し続けること、もう1つは田園の中から将来を見つめていこうとする基本姿勢です。
総合計画は10年ごとに見直され、現在は第4次総合計画のもと、地域ごとに異なる環境の中で、それぞれの地域が活気にあふれ、にぎわいのあるまちづくりに向けて地区別の計画に取り組んでいます。



渡邊六郎兵衛家長屋門

国の有形文化財に登録

3月27日、黒沢地内にある「渡邊六郎兵衛家長屋門」が国の有形文化財に登録され、現当主の渡邊健次郎氏に後藤町長から登録証とプレートが伝達されました。町内での国の有形文化財登録は第1号です。

渡邊家は、中世に南東北を広く支配した伊達家の家臣だった家でした。しかし豊臣秀吉の命令によって伊達政宗が宮城に移ると、当時の渡邊家当主であった治部少輔も宮城に移りました。上杉家が置賜を支配した後は、その末弟である土佐という人物が家を継いで豪農となり、5代目から「六郎兵衛」を名乗るようになりました。その後酒造業を始めた渡邊家は、明治以降も順調に経営を続け、14代目の渡邊勝助氏の代で長屋門を建設しました。



左から：(町長) 現当主の渡邊健次郎氏



一般的に長屋門は多くが江戸時代に建設されたものが多いのですが、六郎兵衛家の長屋門は明治42年に建設されました。江戸時代の形式の建物を、明治期に日本で一般的に使われるようになった、レンガを壁に張り付けるなどの近代の技術で建設したとても珍しい建物です。また、もともと萱葺きだった屋根にトタンを葺いたのみで、建物自体の改修は行わず、当初の姿をそのままに留めていること、建築年代を特定することができる棟札が残っていることから、歴史的価値のある貴重な建物だと言えます。

建設から百年余りが経過し、「渡邊六郎兵衛家長屋門」は国の有形文化財登録を受けました。今後、所有者と町が協力しながら建物の補修や維持の方法を考え、地域を代表する散居集落の遺構として保存していきたいと考えています。



渡邊六郎兵衛家長屋門



建築年を示す棟札



渡邊家の歴史を伝える古文書



昭和21年の長屋門 (峰村昭一氏提供)



北面外壁のレンガ



酒造業経営当時の酒ラベル

手ノ子区協議会 宇津峠部会

宇津峠歩こう会 よみがえ - 蘇る古道の息吹 -

「宇津峠の史跡」発行



江戸時代の掘割



5月3日に開催された第1回部会に参加したメンバー



イザベラ・バードと眺望の地



明治期の石積み



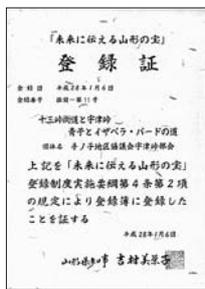
宇津峠旧道



発行された「宇津峠の史跡」
※実際に発行されたものは
カラー版です

手ノ子区協議会宇津峠部会は平成15年に設立され、現在は高橋純会長を先頭に9名で活動しています。宇津峠とは、江戸期の米沢城から越後黒川までを結ぶ越後米沢街道、別称十三峠の一つで、手ノ子地区から小国町沼沢地区を結ぶ峠です。明治11年には、イギリス人旅行家のイザベラ・バードが宇津峠を通り、後に置賜盆地を「東洋のアルカディア」とたたえたことは、ご存知の方も多いと思います。同会は、平成16年から宇津峠旧道の整備に取り組み、旧道の復元をしながら、峠に残る史跡や自生する草花の調査を行ってきました。また、峠の歴史的・文化的な価値と美しい自然を広く知ってもらうために企画した「宇津峠歩こう会」は、春と秋を合わせて計21回の開催を数えます。

平成28年1月には、その取り組みが認められ、地域活性化や新たな交流の拡大につなげていくことを目的に、山形県が創設した登録制度「未来に伝える山形の宝」に登録されました。同会では平成23年度に宇津峠ガイドブックの第一作目として、「ガイドブック史跡編」を発行しました。その後、平成24・25年度に発行した第二作目の「峠の樹花」、第三作目の「峠の草花」は平成28年度に再編集を終えました。そして平成29年度、第一作目のガイドブックを再編集し「宇津峠の史跡」として発行しました。



高橋会長が中心となり、町内外から写真や資料を収集し、先人たちの言い伝えを基に資料をひも解きながら編集された、全50ページに及ぶ同書は、史跡の写真や古くから伝わる絵図がちりばめられ、峠の歴史や変遷などを知ることができる興味深いものです。同書は、印刷費として600円を納付すると、同部会やあゝすで受け取ることができます。

◆高橋会長に、これからの抱負を伺いました。部会のメンバーだけでは峠の維持や復元活動が難しくなっている一方で、地区外から活動に参加してくださる方がいらっしやいます。本当にありがたいことです。「先人たちが残してくれた、宇津峠という宝物を残していきたい」という気持ちと一緒に持ってください。このガイドブックから、宇津峠に興味を持っていただける方が増えれば嬉しいです。5月20日(日)に行う「第8回新緑の宇津峠歩こう会」にも多くの方にご参加いただきたいです。



一般財団法人松坂世紀記念財団の奨励者として、5月10日に表彰された高橋純会長

安心して活き活きと暮らせる

地域共生社会の実現を目指して

「飯豊町高齢者保健福祉計画」・「第7期介護保険事業計画」を策定しました

計画策定の背景と主旨

本町では、平成30年4月1日の時点で、人口7249人のうち、65歳以上の年齢の方が35.4%（高齢化率）を占めています。そして、昭和22年から24年に生まれた「団塊の世代」といわれる方が75歳以上（後期高齢者）になる平成37年（2025年）には、高齢化率は39%程度に上昇することが見込まれています。介護保険サービス利用者の約9割が75歳以上の方であることから、後期高齢者が増大する平成37年以降は、介護や福祉サービスへの需要が今以上に高まることが予測されます。

こうした状況を踏まえ、高齢者が住み慣れた地域で安心して、自分らしく生涯を過ごせるまちづくりを目指して、「飯豊町高齢者保健福祉計画」・「第7期介護保険事業計画」を策定しました。計画期間は、平成30年度から平成32年度までの3力年としています。計画の策定にあたっては、65歳以上の高齢者2107人の方を対象に実施したアンケート結果を基に、将来必要なサービス量を推計するほか、社会福祉関係者や住民の方などで構成される介護保険運営協議会で審議いただくなど、幅広く町民の皆さまのご意見を反映することに努めてきました。

本計画では、「安心して活き活きと暮らせる地域共生社会の実現」を基本理念としています。その実現のために、住まい・医療・介護・予防・生活支援サービスを適切に組み合わせた「地域づくり」をさらに推進し、「生きがいづくり・社会参加」「健康づくり・介護予防」「地域包括ケアシステムの深化・推進」「介護保険サービスの充実と適切な運用」を積極的に推進します。

介護保険事業を持続し、介護保険料の上昇を抑えるためには、これまで町を支えてきた高齢者の方が、より元気で自分らしく生活していただけるよう介護予防の取り組みを強めることが重要です。介護サービスを受ける側ではなく、地域福祉の担い手としてご協力いただけるような社会の実現に向けて取り組みを進めていきます。

●計画の期間

平成37年度（2025年）までの見通し

第5期計画
平成24～26年度

第6期計画
平成27～29年度

第7期計画
平成30～32年度

第8期計画
平成33～35年度

第9期計画
平成36～38年度

★平成27年
団塊の世代が65歳に

★平成37年
団塊の世代が75歳に



平成30年度介護保険制度改正について

4月から変わりました

★介護保険制度の見直しにより介護保険料が下の表のように変わりました

所得段階	対象となる方	改定後（第7期）		前期との比較
		保険料率	保険料（年額）	
第1段階	生活保護受給者の方 老齢福祉年金受給者 世帯全員が町民税非課税で、前年の合計所得金額と前年の課税年金収入額の合計が80万円以下の方	基準額×0.45	36,990円	▲ 243円
第2段階	世帯全員が町民税非課税で、前年の合計所得金額と前年の課税年金収入額の合計が80万円超120万円以下の方	基準額×0.75	61,650円	▲ 405円
第3段階	世帯全員が町民税非課税で、前年の合計所得金額と前年の課税年金収入額の合計が120万円超の方	基準額×0.75	61,650円	▲ 405円
第4段階	世帯の誰かに町民税が課税されているが、本人は町民税非課税で、前年の合計所得金額と前年の課税年金収入額の合計が80万円以下の方	基準額×0.9	73,980円	▲ 486円
第5段階	世帯の誰かに町民税が課税されているが、本人は町民税非課税で、前年の合計所得金額と前年の課税年金収入額の合計が80万円超の方	基準額	82,200円	▲ 540円
第6段階	本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が120万円未満の方	基準額×1.2	98,640円	▲ 648円
第7段階	本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が120万円以上200万円未満の方	基準額×1.3	106,860円	▲ 702円
第8段階	本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が200万円以上300万円未満の方	基準額×1.5	123,300円	▲ 810円
第9段階	本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が300万円以上の方	基準額×1.7	139,740円	▲ 918円

第6期計画の保険料基準額（月額）は6,895円でしたが、第7期計画では6,850円になり45円の引き下げとなりました。介護保険料は介護保険事業総額の一定割合を65歳以上の方の保険料で負担することになっており、介護保険サービスを利用される方が増加すると給付額が増加するため保険料が引き上げられることとなります。

皆さまの保険料につきましては、所得額や町民税額が決定する6月にお知らせします。

8月から変わります

★介護サービスの利用者負担が2割負担の方の中で、特に所得が高い方は3割負担となります。

★70歳以上の方が、介護保険と医療保険の合算した自己負担額が高額になった場合の自己負担限度額が変わります。



介護予防の取り組みと 地域で支え合う体制づくり

介護予防の取り組み

介護が必要になる理由で多いものとして脳血管疾患、認知症、次いで筋力の衰えによる骨折や関節の疾患が挙げられます。元気な体を保つためには、筋力の維持や脳への刺激、栄養をしっかりと摂ることが重要です。

町では、介護予防について「交流を持ちながら」ということに重点を置いて実施と推進をしております。人とのつながりの中でやりがいや楽しみが生まれ、自分なりの役割を持ち活き活きと活動することが最終的に介護予防につながります。また、交流を持つことでお互いの変化に早期に気付き支え合うことにもつながります。

高齢になっても元気に過ごせるよう、また楽しみと生きがいづくりにぜひお役立てください。

【いきいき百歳体操】

地域の中で自分たちで実施する介護予防活動です。体操を行い健康を維持するほか、みんなで集うことで互いの見守りにつながります。

実施団体：19団体



【らくらく筋トレ教室】

町社会福祉協議会「筋トレルーム」で、平日（水曜・祝日除く）開催。都合の良い時間に通い、介護予防運動指導員のもとでトレーニング器具を使った筋力トレーニングを行います。



【ほのぼのサロン・ゆうゆうクラブ】

公民館を利用して週1回程度開催しています。高齢者間の交流を図り、自分の心身に合わせた介護予防体操、脳活性化ゲーム、談話などを楽しめます。

◀ほのぼのサロン：16地区（中津川以外）▶
◀ゆうゆうクラブ：5地区（中津川）▶

【温泉付きサロン】

町内の温泉施設（しらさぎ荘）において、送迎付きで月2回実施します。近くにサロンがなく車を運転しない方が対象で、介護予防のほか、買い物の支援にもつながっています。



【栄養ケア事業】

低栄養による要介護状態を予防するため、管理栄養士による栄養指導を行います。自分たちで調理し会食や交流をすることで閉じこもり予防にもつながります。



【口腔ケア事業】

歯科衛生士の指導のもと、口腔ケアと飲み込みの力の衰えによる誤嚥性肺炎予防を行っています。介護度の重い方については、訪問による口腔ケア指導も行っています。

【安心生きがい訪問】

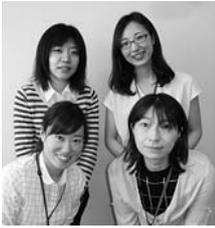
一人暮らしまたは高齢者のみの世帯の方で、見守りを希望される方を対象に、定期的な訪問やお元気コール（電話確認）を行っています。

元気な今から介護予防を！

平均寿命と健康寿命（健康で過ごせる期間）の差は平成25年で男性が9・02年、女性が12・40年となっています。この差は日常生活に制限のある期間ということになり、何らかの健康問題を抱え介護が必要となってしまう期間です。この期間を縮めていくことが健康づくりや介護予防の目的となります。

平成25年3月作成の健康いいで21では、11項目の課題について目標と取組内容を掲げています。その中で特に介護保険と関係するのは「高齢者の健康」という項目です。「高齢者の健康」では特定健診の受診率の向上、介護予防の充実、高齢者の健康づくりの推進を掲げています。健康医療室では特定健診後の結果説明会や訪問などで検査データをみながら日常生活で注意したいことなど一緒に考えたり、いきいきデイなどにお伺いして健康づくりのお話をさせていただいています。今年度は健康寿命延伸を目的に前期高齢者では脳卒中予防を後期高齢者ではロコモ（運動器の衰えや障害）によって、要介護になるリスクが高まる状態）予防と低栄養予防をテーマに保健事業に取り組んでいく予定です。

地域にお伺いしながら健康づくりを進めていきますのでお声をかけてください。



健康医療室
(保健師
・管理栄養士)

地域で支え合う体制づくり

高齢になっても住み慣れた地域で安心して生活し続けられるためには、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域づくりが大切です。

そして、その地域づくりを実現するために、自分や家族が支えあう「自助」、行政などが行う「公助」、健康保険や介護保険など制度化された「互助」だけではなく、地域での助け合いやボランティアなどの「共助」も含めた、地域ぐるみの支え合いが不可欠です。

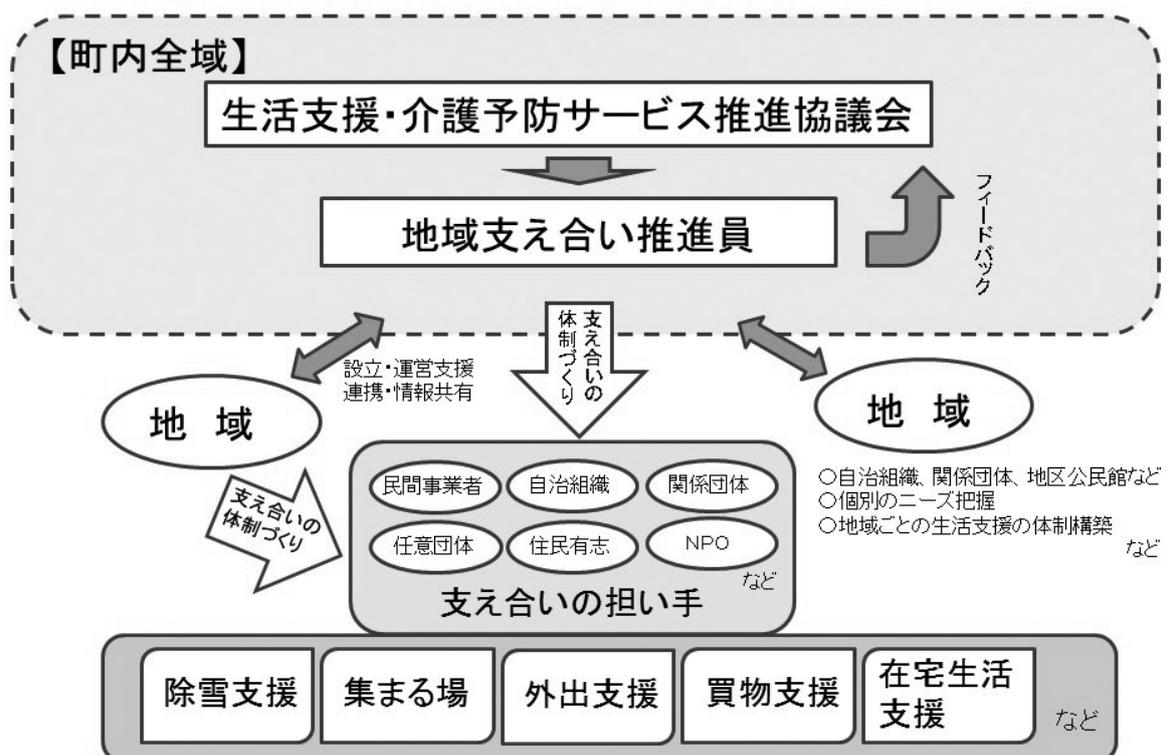
町では、地域の支え合いの体制づくりを推進することを目的として、町内各種団体の代表を構成員とした「生活支援・介護予防サービス推進協議会」や「地域支え合い推進員」を設置し検討を進めてきました。

生活支援・介護予防サービス推進協議会では、高齢者が日常生活を送る上での課題を5つにしぼり、今年度は「除雪の支援」と「移動の支援」について、地域での支え合いの体制づくりをお手伝いしていきます。

支え合いの体制づくりにあたっては、地域の皆さんが主体となり、さまざまな関係者が協力・連携しながら進めていく必要があります。

ぜひ、地域の皆さんで話し合いを行っていただきながら、今よりももっと安心して暮らしやすい地域での支え合いの体制づくりを進めていきましょう。

《地域での支え合い体制づくりイメージ》



まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課情報防災室まで（直通☎87-0522）



まちかど NEWS



屋台村いいでら プレオープン記念式典

さらなるにぎわいを目指して

4月5日、中部地区活性化センターで、屋台村いいでらプレオープン記念式典が行われました。式典には、飯豊型屋台村愛称選考委員会で決定された「屋台村いいでら」の命名者の志賀富美子さん（川西町）を始め、関係者約30名が出席しました。式典終了後、屋台村いいでらの前で鏡開きが行われ、関係者がさらなるにぎわいの拠点完成を祝いました。屋台村いいでらは10日にグランドオープンし、餅の振る舞いが行われ、大勢の来場者でにぎわいました。

町内小学校 交通安全教室

声を出しながら確認 よし！



4月13日から町内小学校で、道路の歩行の仕方や自転車の乗り方を学ぶ交通安全教室が行われました。第一小では1～6年生までの児童が参加し、その内3～6年生までの102名が、学校周辺の約2kmで実地講習をしながら自転車の安全な乗り方を学習しました。児童たちは「ブレーキよし！ペダルよし！後ろよし！前よし！発進！」と元気よく声出し確認をしてペダルをこぎ出しました。

スポーツ少年団合同入団式

スポーツを通して友情を育む



4月15日、町民スポーツセンターで「スポーツ少年団合同入団式」が行われ、島貫潤一郎本部長から9つのスポ少の代表に認定証が手渡されました。飯豊ドリームズ野球スポ少の渡部琉碧くん（第一小）が代表して団員綱領に沿って「スポーツをとおして健康な体と心を養うことや、スポーツの喜びを学び、友情と努力を大切にします」など5項目を宣誓しました。今年の団員は、総勢141名です。



水仙ロード

水仙ロードを延伸

4月22日、中津川地区および西部地区で、水仙ロードの整備作業が行われました。この水仙は昭和50年代に白川ダムの湖底に沈む民家の庭先から植え替えられ、中津川地区では延長約10kmにも及ぶ水仙ロードになりました。5年前からは、水仙ロードを国道113号につなげようと、中津川地区と西部地区の両地区の方が協力しながら延伸の取り組みを始め、この日は、西部地区公民館前の沿道約300mに、約15名の参加者が水仙の植え付けを行いました。

町消防団辞令交付式

消防職務遂行の決意



4月8日、あ～すで「町消防団辞令交付式」が行われました。式には、消防団幹部や団員など約100名が出席。田辺隆団長から異動された団員に辞令が交付されました。今年度は14名が退団し20名が新たに入団。団員総数は419名です。式中、新入団員を代表して本部分団第1部第3班の遠藤奈央さんが、「良心に従って忠実に消防職務の遂行にあたります」と力強く宣誓しました。

にぎわい再現プロジェクト委員会

アクセサリーづくりを通じた交流



4月21日、ホテル・スロー・ビレッジで、にぎわい再現プロジェクト委員会主催によるアクセサリーのハンドメイドワークショップが行われました。同イベントは、さまざまな世代間の交流の場を設けようと企画されたもので、町内のアクセサリー作家akiさんを講師に招き小学生から大人までの12名が参加しました。参加者たちは思い思いのカラーのビーズを加工しイヤリングなどを手作りしました。



4/27

平成29年度飯豊町スポーツ振興賞授与式（東部地区公民館）



4/12

「しっかり止まってはっきり確認」パネル広報（物産館前 国道113号）



4/1

第58回飯豊ロードレース大会（飯豊中学校周辺）

子育てFILE

こどもみらい館の予定表

(5月・6月の日程)

- 5月23日(水) 10:30～ かんがるー広場
- 25日(金) 10:30～ にこにこルーム
- 6月6日(水) 10:45～ おはなし広場
- 8日(金) 10:00～ タッチケア (要予約)
- 13日(水) 10:30～ あそびの広場・避難訓練
- 14日(木) 10:30～ 5歳児リトミック
- 20日(水) 10:15～ 栄養士さん指導

子育て合同研修会

「リズムにあわせて
親子でヒップホップダンス」

日時/6月9日(土)10:00～

親子で体を動かして楽しみましょう！

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日/火曜日から土曜日 休館日/月曜日、日曜日、祝祭日
利用時間/8:30～12:00、13:00～17:00



さいとうなぎちゃん



すとうみおちゃん



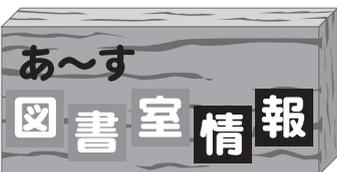
ながおかはなちゃん



いとうみのみちゃん

町内に在住の方で、小学校入学前のお子さんの写真掲載を希望される方は、メール (iide-info@town.iide.yamagata.jp) にお子さんの名前を記入して送付ください。

●問合せ先/役場総務企画課情報防災室 ☎87-0522



今月の おすすめ図書



児童図書

しあわせの牛乳 牛もしあわせ！おれもしあわせ！

佐藤慧/著 安田菜津紀/写真 ポプラ社
岩手県の「なかほら牧場」の牛たちは、一年を通して山で生活しています。ふん尿処理は自然まかせ。牧場長の中洞正さんは、なぜ、この牧場を作ったのでしょうか。自然と人間の優しい関係を描きます。



児童図書

おにいちゃんさんかんぴ

大島妙子/絵 くすのきしげのり/作 光村教育図書

今日は幼稚園に通う妹の参観日。急用で両親が行けなくなってしまったため、シントロウが代わりに参観に行くことになりました。妹がっかりしないよう、ほかのお父さんやお母さんよりも上手に折り紙を折ろうと頑張りますが…。



一般図書

青空と逃げる

辻村深月/著 中央公論新社

疑心、恐怖、そして怒り。壊れてしまった家族がたどりつく場所は…。一家再生の物語。「読売新聞」連載を単行本化。



一般図書

大人の日帰り旅
仙台宮城周辺

JTBパブリッシング
(JTBのMOOK)

宮沢賢治ゆかりの施設巡り、景色も温泉も楽しむ爽快ドライブ、清らかな水で造られたウイスキー。仙台・宮城周辺を中心とした日帰り旅を紹介する。

- 開館時間 午前9時～午後7時 (4月～9月)
- 休館日 毎週月曜日・祝日
- 問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 ☎72-3111

飯豊
遺産

いいで・ヘリテージ

26

—岩倉神社仁王像 拝覧のご案内—

第19回目のいいで・ヘリテージにおいて、平成28年度より「岩倉神社仁王像」の修復を進めているお話をしました。

仁王像が鎮座する仁王門は、かつて子どもたちのかくれんぼの場でもあり、岩倉の方たちからは鬼から仁王像にかくまってもらった昔話などを聞くことができます。このような想いを持つ地元の方たちの寄進と、飯豊史話会が朝日新聞文化財団から受けた助成によって、この修復は行われてきました。修復を実施してくれたのは、仁王像の調査に長年関わってくれた研究者である岡田靖氏です。名古屋にある岡田氏の工房で進められてきた修復作業は、平成30年3月に完了、5月1日に仁王像が飯豊町に帰ってくるようになりました。

この時期、岩倉神社には雪が残っていることから、すぐに仁王門に納めることはできません。そこで仁王像は「あ～す」に仮鎮座していただくこ

とになりました。長い歴史を有し、多くの道者たちの信仰を集め、岩倉の方たちが守り続けてきた仁王像。この機会に多くの方にご参拝、ご拝覧、足の健康のご祈願においでいただきたいと思えます。かわいいお守りもごさいます。仮鎮座期間は5月6日(日)から6月23日(土)までです。



修復後の阿形像(左)と吽形像(右)

問合せ先／社会教育課生涯学習振興室 ☎72-3111

連載

随想

町長の思いつき

101

「ブランコ」

後藤 幸平

誰にでもある幼児体験。年齢を重ねても脳裏にのみがえる光景というものがある。「母さん、僕のあの帽子どうしたでせうね？」西条八十の詩の一片が余りにも強烈な印象で話題となった推理小説があった。「母さん、僕のブランコはどこへ行ったでしょうか」そんなフリーズが何の脈絡もなく浮かんでくることがある。

五月の若葉萌えるころ「春かど」を焼くにおいが漂う夕暮れの公民館の広場にあった木製のブランコ。子どもたちだけの空間がそこにあった。「町上青年会」の宴会が佳境に入つたあるとき、隣組の山口さんが画期的な芸を披露した。ペリーバンパンの「白いブランコ」をあたかもブランコがあつて揺れているように演じながら歌うのである。「君は覚えてーいるーかしらーあのー白いーブランコー」。歌詞の内容からしてそれはかつて遊び場にあった踏み板一枚のものではなく、乗合馬車の形をした四人乗りのブランコかもしれない。子どもたちの小さな体でも大きく躍動するブランコは遊具のシンボルである。萩生の城址公園にしばらく

く壊れて外されてあつたブランコがこんど復活した。子どもたちの歓声が辺りに響いてほしいものだ。

黒澤明監督の映画『生きる』を久しぶりに見た。ラストシーンは雪降る公園のブランコに乗る主人公志村喬演じる市民課長の姿である。彼のいのちの灯はそこで間もなく消える。病で余命いくばくも無いと知って懸命に市民の要望に応え公園建設に着手し完成させた。ブランコに乗って口ずさむ歌は『ゴンドラの歌』、いのち短し恋せよ乙女と。

親しくしている企業経営者からこんな話を聞いた。ドートルコーヒーの創業者、鳥羽博道氏は十二月三十一日に必ず歌う歌があるとのこと。厳しい危機を何度も乗り切ったときの覚悟を思い起こすためだ。曲名は何と『昭和枯れすすき』だという。ひたむきに挑むものに世間の壁は厚く反動は強い。母の愛に包まれて育つてもいつかは荒波にもまれる。しかし落ち込むことはない。ブランコは教えているではないか。踏ん張り、こぎ続ける限り、下がったらまた必ず上に昇ることを。

健康*ikiiki*^{プラス}が4月からリニューアル！
 このコーナーでは、町健康福祉センター（町健康福祉課・町国民健康保険診療所）から、季節ごとに旬な話題をお届けし、町民の皆さんの健康づくりを応援します。



今月のテーマ 5月から
 町のけんしんがスタートします！

【けんしん（特定健診・がん検診）を受ける利点】

- ① 特定健診を受けることでさまざまな検査が同日に受けられる
- ② 継続して毎年けんしんを受けることで自分の健康状態を比較でき変化を見ることができる
- ③ 病気（生活習慣病・がんなど）の早期発見・予防につながる
- ④ 一人一人の医療費が安くすむ（生活習慣病にかかる1人当たりの医療費
 特定健診受診者 1,848円/月 特定健診未受診者9,582円/月）
- ⑤ 健診結果説明会にて、より健康になるための方法を保健師・管理栄養士と一緒に考えます



医療機関で治療中の方も特定健診の対象者です。
 特定健診を受けて健診結果を主治医に見せましょう！

【けんしん前後の流れ】

1. 申し込み
 2月に配布した「検診世帯調査票」に記入して申し込みます。
 新規申し込みも随時受け付けています。
 ご希望の方はご連絡ください。
 ↓
2. けんしん日程確認
 ご自分の地域のけんしん日を確認ください。
 ↓
3. 問診票・検査キット（便・尿）などが届く
 総合健診：健診日の2～3週間前
 人間ドック：6月頃、レディース検診：5月頃
 ※人間ドックとレディース検診の問合せ先を、今年度から
南陽検診センターに変更しましたのでご注意ください
 ↓
4. けんしん当日までに
 ●問診票記入 ●採尿 ●採便
 ※レディース検診および人間ドックで、バス送迎が必要な方は
 南陽検診センターに各自で申し込みください
 ↓
5. 健診結果
 健診日の1～2カ月後に「健診結果説明会」を行い結果をお渡しします。健診結果説明会の日程は健診日当日にお知らせします。レディース検診・がん検診のみ受診の方は郵送で届きます。



●けんしん日程は、4月に全戸配布した「飯豊町けんしんカレンダー」、または町のホームページをご覧ください。

【若者健康診査】
 まだ大丈夫と安心していませんか？
 若い方も年に1回は健診を！
 ◆対象／20～39歳の職場で健診がない方
 ◆健診内容／身長・体重・腹囲・血圧・尿検査・内科診察・心電図・眼底検査・血液検査（脂質・血糖・肝機能・腎機能・貧血検査）
 ◆料金／1,500円

【新規申込・日程変更・キャンセル】
 ◆人間ドック・レディース検診（子宮頸がん・乳がん検診）
 南陽検診センター ☎0238-43-6303
 ◆特定健診・がん検診・若者健康診査
 町健康福祉課 健康医療室 ☎86-2338

みんなで進めよう！介護予防！

地域版



ゆうゆう中津川

代表者 五十嵐あいさん
 参加者 17名
 開始日 平成29年1月12日
 会場 ひまわり館
 実施日 毎週木曜日 9:00~



いきいき100歳体操
取り組んでいます！

ゆうゆう中津川では、昨年1月から毎週「いきいき100歳体操」を行っています。

中津川では「ゆうゆうクラブ」というサロン活動を地区ごとに隔週で開催しています。サロン以外の方も広く参加できるように活動前の時間帯で、毎週100歳体操を行っています。

「体操をすると体調が良い」、「みんなで無理なくできる体操が良い」など、効果を実感しながら、楽しく取り組んでいます。

体操が終わると、持ち寄った漬物や煮物などを囲み、2時間までサロン活動を楽しみます。

100歳体操を続けている皆さんに感想を聞きました。

【参加者の感想】

- ・足が悪いため冬は休んでいるが、毎回楽しみにしている。
- ・痛いところもあるが、終わると大変良くなっているし、その後のお茶飲みも楽しみ。
- ・冬に眠っていた筋肉が動き出したようで大変良かった。
- ・1人ではなくみんなで体操することが、なおよいと思う。

【いきいき100歳体操を始めましょう！】

いきいき100歳体操のことを詳しく知りたいという集落や団体には、町職員がお伺いして体操の説明をさせていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

町民川柳



— お題／「緑」または自由題 —

- ・恋の猫 子どもを連れて 戻りけり 小白川 夢城（雅号）
- ・春うららら つくし坊やの 背比べ 添川 おばんちゃ（雅号）
- ・芽吹く春 新緑鮮やか 希望と共に 中西 佐藤 恒子
- ・春のひかり 庭のすみっこに 福寿草 中西 青木 和子
- ・小春日和り 櫻と共に 笑顔一パイ 中西 大谷部 ちよ
- ・雪とけて 畑いちめん みどり草 中西 熊谷 静子
- ・春一番 梅のつぼみも大切に 生きて行く 中西 田中 つき
- ・ふきのとう 残雪の割れに 顔を出し 町上 伊藤 ツギ
- ・住んで良い 緑ゆたかな 飯豊町 町上 とき子（雅号）
- ・みどり色 青と答える 私かな 町上 長岡 登喜子
- ・梅桜 一期に咲いて 草若葉 町上 宇津木 ちよ
- ・鯉のぼり 親子で泳ぐ 空高く 町上 桜（雅号）
- ・春うららら 縁側ごろり 昼寝する 椿 加藤 秀夫
- ・納豆好き 値上げ前日 爆買いし 添川 ニヤン子（雅号）
- ・白球が 緑に映える 野球場 萩生 樋口 忠夫
- ・花冷えも いい湯満開 百才会 中 大谷部 ハル
- ・孫の夢 のせ流れる雲よ コいのぼり 松原 横山 義男
- ・暖かき 緑も増して 春日和 萩生 後藤 カコ（雅号）

◆ 作品を募集しています。毎号先着18名（1人1作品）を掲載します

◆ お題／「衣」または自由題

◆ 提出方法／掲載号の前月の第4木曜日までに、未発表の自作の川柳と住所、電話番号、氏名（または雅号）を明記のうえ、はがきまたはFAXで提出

◆ 提出・問合せ先／役場総務企画課情報防災室 ☎8710522 FAX7213827

飯豊町役場
電話 0238-72-2111
FAX 72-3827
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

テレビ視聴に関する 重要なお知らせ

携帯電話の新しい電波として地上デジタルテレビ放送に近い周波数を利用することになります。そのため、旧型のテレビアンテナ設備などに影響が出て、映像が乱れたり映らなくなる場合があります。今後、そのお知らせや対策作業で、700MHz利用推進協会の職員や協会指定の工事業者が訪問する場合がありますのでご承知ください。

◆テレビ受信障害対策者

(一社)700MHz利用推進協会

※この協会は、(株)NTTドコモ、KDDI(株)、沖縄セルラー電話(株)とソフトバンク(株)の4社が設立した一般社団法人です

◆注意(特殊詐欺などに注意ください)

・テレビに影響が出るおそれがある場合は、当該協会の負担で無償で対策作業を行います。対策作業に費用は一切かかりません。費用を請求することはありません

・工事業者はテレビ受信障害対策員証を携帯しています。不審の場合はコールセンターへ問い合わせください

◆問合せ先

・(一社)700MHz利用推進協会コールセンター ☎0120-700-012

※受付時間 9:00～22:00、土日祝日および年末年始を含む

・役場総務企画課情報防災室

☎87-0522

借金返済に関する相談窓口

祝日・年末年始を除く月～金曜日に随時相談に応じます。

◆相談電話

山形財務事務所 ☎023-641-5201

空き家に関する無料相談会のご案内

空き家の管理で困っていませんか？町では、山形県空き家活用支援協議会と協力して、飯豊町内にある空き家の利活用、売買、賃貸、解体、存続などでお悩みの方を対象に、不動産業や司法書士などの専門家による『空き家に関する無料相談会』を開催します。会場では、町の職員が『空き家バンク制度』と『老朽危険空き家の解体・撤去支援』についてのご相談もお受けします。

◆日時／6月17日(水)13:00～16:00

にお申し込みください

◆会場／「あ～す」2階会議室

※予約なしの相談も可能ですが、事前申込者を優先します

◆対象者／空き家・空き地の所有者、または管理者

◆その他／登記簿や固定資産税納税通知書兼課税明細書を持参いただくとより具体的な相談ができます

◆対応者／県宅地建物取引業協会、全日本不動産協会山形県本部、県司法書士会の会員

◆申込・問合せ先

◆参加費／無料

役場総務企画課特別政策室

◆申込方法／6月13日(火)までに右記

☎87-0695

空き家バンクとは 空き地や空き家などの空き物件情報を地方公共団体のホームページなどで公開し、物件所有者と購入・賃貸希望者をつなぐ仕組みのこと

老朽危険空き家 老朽化などで人の生命・財産に被害を与えるおそれがある状態の空き家

「やまがた縁結びたい」による 結婚なんでも相談(無料)

◆相談日／5月19日(土)・26日(土)

13:00～17:00

※6月および7月の相談日は問合せください

◆会場／やまがた出会いサポートセンター山形センター

(山形市本町2-4-18ニーズビル2階)

◆対象者／結婚を希望する方(親御さんや登録会員でない方も可)

◆申込・問合せ先／やまがた出会いサポートセンター山形センター

☎023-687-1972

飯豊町消防演習の開催

飯豊町消防団では、消防演習を行います。消防団の雄姿をご覧ください。また、消防団では随時団員を募集しています。

◆日時／6月3日(水)8:50～12:15

◆場所／町民総合センター「あ～す」

◆内容／火災防ぎょ訓練、新入団員・女性団員による礼式訓練、ポンプ車操法、応急手当訓練、分列行進・防火パレードなど

※雨天時は内容・時間が変更になります

◆入団申込・問合せ先／西置賜行政組合消防署飯豊分署 ☎72-2222

こせきのまど
戸籍の窓

(4月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所 氏名
(黒沢 青木 雄太さん
南陽市 中里 愛美さん)

お誕生おめでとうございます

住所 氏名 ご両親
中田 林 颯真くん (徳 晃希
添川 井上 聖琉くん (侑 太彩
椿 竹田 煌瑛くん (洋 介純
中田 林 葵 羽ちゃん (賢太郎 知美)

心からおくやみ申し上げます

住所 氏名 年齢
中 中北 鈴木 はふゑさん 98
萩生 中/睦 後藤 孝次さん 98
黒沢 二輪五郎 井上 カヨさん 83
椿 財津堂 後藤 糸いさん 88
小白川 中郷 新野 たつさん 88
手ノ子 町下 島 貴吉 吉太郎さん 95
萩生 中/睦 新野 與一さん 87
高峰 中通 寒河江 朋幸さん 39
宇津沢 山口 俊輔さん 85

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

4月分 ()内は対前月比				
世帯数	2,375(-3)	転入	13	
人	男	3,539(-14)	転出	25
	女	3,688(-8)	出生	4
計	7,227(-22)	死亡	10	

第30回いいで黒べこ祭り
町制施行60周年記念事業

- ◆第30回いいで黒べこ祭り
- ◇日時/7月1日(日)11:00~14:00
- ◇場所/どんでん平ゆり園
- ※入口は正面北側の専用ゲート
- ◇イベント内容/こくわワイン・どぶろく・地酒の振る舞い、大抽選会など
- ◇前売り券/ファミリーセット(4名分)15,000円
- 販売枚数/160枚
- 販売先/JA山形おきたま飯豊支店、畜産団体の役員の方、町観光協会、どんでん平ゆり園、役場農林振興課農業振興室
- ◇当日券/ペアセット(2名分)8,000円
- ※牛肉・野菜・飯豊産米おにぎり・焼きそば・飲み物セット
- ◆飯豊産米沢牛フェスタ
- ◇日時/6月30日(土)18:00~20:00
- ◇場所/どんでん平ゆり園内レストハウス
- ◇前売り券/4名セット15,000円
- ※当日券はありません
- ※牛肉・野菜・料理付き
- 販売枚数/18枚
- 販売先/めざまの里観光物産館
- ◆前売り券販売日/黒べこ祭り、フェスタいずれも5月21日(月)から販売
- ◆問合せ先/役場農林振興課農業振興室 ☎87-0525

【お詫びと訂正】

4月12日発行号11ページ「町の予算」で、一般会計の歳入の円グラフの数値に誤りがありました。正しくは、地方交付税27億6,934円です。お詫びして訂正いたします。

中小企業振興事業費補助金
のお知らせ

- 町は中小企業者などが雇用を伴う設備投資などを行った場合に助成します。詳細は町ホームページをご覧ください。
- ◆対象者/町内に事業所などがある中小企業者
 - ※ほかにも条件があります
 - ◆補助額/種類と条件により補助率が異なります
 - ※補助金額に上限があります
 - ◆補助金の種類/創業支援補助金、設備投資支援補助金、雇用促進補助金、観光事業補助金、商店支援補助金
 - ◆申請方法/補助金申請書を記載して提出。ただし、設備投資支援補助金および雇用促進補助金は「雇用創出計画書」を提出(継続事業の場合は不要)
 - ◆決定方法/審査会により決定します
 - ◆募集期限/6月1日(金)
 - ◆申請・問合せ先/役場商工観光課産業連携室 ☎87-0523

おしどり金婚さん募集

- 山形新聞・山形放送では、昭和43年に結婚され50年を経過したご夫婦を「おしどり金婚さん」として10月に顕彰します。対象者を募集しています。
- ◆募集期限/5月31日(木)
 - ◆申込・問合せ先/山形新聞「おしどり金婚さん顕彰」事務局 ☎0120-81-8040または町社会福祉協議会 ☎72-3353

河川などの
伐採木を無償提供

- 県では、河川支障木を一般の方に無償提供します。事前申し込みは不要で、提供物が無くなり次第終了します。営利・転売目的の場合は提供できません。
- ◆提供期間/5月30日(水)~31日(木) 9:00~16:00
 - ◆提供場所/置賜白川飯豊橋下流東側の河川敷(添川地内)
 - ◆対象者/自ら積み込み運搬できる方
 - ◆提供量/一人軽トラック1台程度
 - ◆問合せ先/置賜総合支庁西置賜河川砂防課 ☎88-8234

◇大人になってから気付くこととして、誰しもあると思います。子どもの頃食べられるようになったものが食べられるようになったとか、大人になってから興味を持つようになったとか。私の場合は「花」です。大人になってから、花についていなと思うようになりました。苗を購入して植える花壇の花もいいですし、毎年花を咲かせる多年生の花もきれいです。特に今年の西部地区から中津川地区の水仙ロードは見応えがありました。雪解けから、季節の移ろいを花で感じることができると素晴らしいことですね。ゆり園の開園が待ち遠しいです。(ともあき)



第4回 心の古里いいでフォトコンテスト

テーマ：あの人に送りたい一枚～いいで町～

入 選 「女の子、男の子、どっち？」



佐藤秀明審査員の講評

この写真の面白さは、雪の上で子どもに餅か何かを食べさせているほほ笑ましさにあるので、それにふさわしいタイトルがいいですね。

このタイトルの写真を撮ろうと思ったのなら子どもの顔のアップを撮るべきです。

審査員 佐藤 秀明氏

日本大学芸術学部写真学科卒業後、世界中の辺境を旅し、自然と人間、文化を独自の視野で撮り続けておられます。

13

Series

掲載順について
上位の作品から順に掲載します

受賞のよろこび

心の古里いいでフォトコンテストの入選に輝いてとても嬉しいです。

これからも皆さんに見ていただける写真を1枚でも多く撮っていきたいと思います。
ありがとうございました。

嶋貫 春二さん（南陽市）

撮 影 地 中津川地内